



経済システムの転換

黒田インターナショナル

黒田 毅

新しい経済システムは、その技術の進歩性と開発環境、資本力における新しい現実の創造を有するものである。大手企業における開発投資とその環境はもはや、追いつくことはできないのである。

これらは先端性という現実の創造と共に新しい経済環境への転換を現実において有する。現実における変化は明らかに未来の創造であり、産業革命、社会革命は存在し、来るべきエネルギー革命と共に新しい世界の創造を現実とするのである。

これらは社会と生活の大幅な変化を有し、新しい社会システムはこれらライフラインである経済システムの変化と密接に繋がっているのである。

これらは世界の完全な自己転換であり、既存システムの崩壊と共に新しい世界のシステム構築を現実化しているのである。

これら世界の資本は、投資において新たな資本力を形成し、産業はその利益性における自己構築への転換を已む無く要求される。

これらは既存の共生という概念でなく、企業の生き残り競争の勝者が、その絶対的な自己プレゼンスと共に新しい世界の創造を自由経済システムにおいて現実化しているのである。

これらは資本主義が、勝利者を生んだということは必ず正しい。

また自由経済システムにおける世界の創造であり、これらは自由主義陣営における新しい現実なのである。これらは市場変化であり全ての企業がこれら現実への対峙を余儀なくされるのである。これらはグローバル化における新しい国際ルールであり現実なのである。

これらは競争原理における勝者が、新しいルールを創造していることは必ず正しい。これらが経済における既存ルールであることは留意しなくてはならない。しかし、これらはその努力の現実化であることから否定できないものであり、その基準における自己は世界のおこがれなのである。